

頑張る企業を応援します！

中小企業応援団

愛知県信用保証協会 × 中部経済新聞



掲載日 2021年7月16日

株式会社アグリトリオ

製造業のノウハウ活かし、生活にワクワクを

自動車部品製造業の社内ベンチャーとして誕生した株式会社アグリトリオ。経験ありきになりがちな農作業をマニュアル化し、門戸を広げたマッチング事業で日本の農業に役立ちたいと語る代表取締役の石川浩之氏に聞いた。

Company Data

社名：株式会社アグリトリオ

代表者：石川 浩之

住所：豊橋市植田町字大膳 39-5

電話：0532-25-8156

URL：<https://agritrio.co.jp>



農業の復興は人だけでなく自然にも必要

豊橋市は全国的に見ても農業が盛んな地域ですが、近年は人材不足などの課題を抱えています。

私自身、出勤途中でお年寄りが辛そうにキャベツを収穫している姿を目にして、何とか力になれないかと思い、それがアグリトリオの原点になりました。私は事業モデルを作るために、80名の農家に160時間かけて聞き取りをしてきました。

農業の人材不足の解決は、長期的に見ると日本の食料の安定供給にも繋がります。また、昨今自然災害が猛威を振るっていますが、農業などの一次産業が支えてきた土地管理の仕組みが揺らいでいることも、被害の要因ではないかと考えています。そのため、日本の農業振興を行うことで、こうした課題解決の一助にも繋がると考えています。

未経験を前提に動画で農作業をマニュアル化

当社の事業は二つです。一つは「農How（のうほう）」です。

農Howは、農家とクルー（アルバイト）をマッチングするサービスであり、農作業の経験

のないクルーが不安に感じないよう約1分～3分程度動画を交えたきめ細かな作業マニュアルを用意していることが特徴です。

当社のスタッフ全員が未経験者を含め、農作業の経験が乏しいため、私たちが作業するなら何が必要かを逆算しました。武蔵精密工業はもちろん、製造業の現場では作業マニュアルの整備は当たり前ですので、こうした製造業のノウハウもフィードバックされています。



また、クルーの農Howにおける就業履歴や評価、農家側の作業内容や難易度について、数値化を含めてできるだけ具体的に掲載することで、双方にとってのミスマッチを防いでいます。

障がいがある方の自立支援も農業で

もう一つの事業である農Careは、農Howの福祉ビジネス版で、農家と福祉サービス事業所をマッチングするサービスです。これは時間単位でなく、作業請負型のモデルです。障がいがある方の作業なので、難易度や単独でする作業なのか複数でする作業なのかなど、作業内容を細かく分類しています。

障がいがある方の家族は、本人が自立して生活していけるようにと希望されていますので、この事業が就労に繋がってくれればと思います。

また、当社では農家との作業工賃の交渉も行っています。どうしても福祉サービス事業所は立場が弱くなりがちなので工賃が低くなるケースも多いようです。私たちは作業内容や標準時間などを基に適切な工賃を算出し農家と交渉します。

全国展開へ向けて。ワクワクの夢は広がる

今後はこの事業モデルをFCとして全国展開したいと考えています。すでに熊本や岐阜などで動き出しており、22年度中には47都道府県に広げる予定です。特に、関東地区では知名度がまだ低いため、積極的に取り組んでいきたいと考えています。さらに農業以外の取り組みとして、林業や漁業、介護などでもこの事業モデルが活用できないか検討中です。

また、農家で廃棄される予定の花を福祉サービス事業所でアレンジメントフラワーにし、会社の受付などに置いてもらうサービスも定額制(サブスクリプション)サービスとして計画しています。



創業時はコロナ禍のまっただ中でしたが、農作業は屋外で密な環境とならないため、クルーの新たな登録は順調に進みました。

現在、登録しているクルーは約4千人、農家約2百軒ですが、今年はクルー3万人、農家2千軒を目標にしています。

農業は、未経験の方には「大変そう」、「やり方がわからない」等、敷居が高いイメージです。当社の農Howでこうしたイメージを変え、誰もが気軽に農家の方と楽しく幸せに働けるようにしていきたいです。

さらに、「地域に根差したワクワクする生活を提供する」という当社のミッションに恥じることなく、地元三河だけでなく全国の農業のお役に立てる会社にしていきたいと思っています。